

日本痛風・尿酸核酸学会

評議員会議事録

開催日時：令和3年2月4日（金）17:30～18:30

形 式：ZOOM 会議

金子理事長が議長席に着き、評議員会の開催を宣言した。
審議に先立ち議長より本日の出席状況は下記の通りと報告された。
評議員 46 名 出席者 33 名 委任状提出者 11 名 欠席者 2 名
続いて下記審議が行われた。

議案1 令和2年度決算・監査報告 細山田庶務幹事

貸借対照表・正味財産増減計算書に基づき決算報告の説明があった。
資産合計は52百万円、負債合計は2百万円となり、正味財産合計は50百万円となった。前年度との増減では資産の部は21百万円増、負債の部は40万円減となり、21百万円増となっている。基金については旧学会の基金9百万円を一般正味財産の代替基金への振替を実施したもの。
経常収益については受取寄付金が第51回と第53回の総会の余剰金合計6百万円と旧学会から収益分9百万円があり15百万円となったが、ガイドライン印税は4百万円減少したので11百万円増の32百万円となった。
経常費用はガイドライン作成費がなく6百万円減の11百万円となった。
租税公課としては事業収入に対する法人税180万円を計上している。
当期増減額30百万円が前年度残高20百万円に加算され、正味財産期末残高は50百万円となった
決算内容については税理士法人の確認や笹田監事と板倉監事からの監査を受けている。
決算報告について賛否をはかったところ、承認された。

議案2 令和3年度予算案 細山田庶務幹事

予算案に基づき説明があった。
収入面では受取寄付金を従来水準の80万円、会費を前期はコロナ禍の影響を鑑み会費請求を2回としたが、今期は従来通り3回実施予定であり420万円を計上した。ガイドライン印税と転載許諾料はそれぞれ100万円と500万円、総会収入は前回に基づき1450万円と試算している。

支出面では総会会費を 1250 万円、ガイドライン関係の費用として 200 万円、会議費はダイバーシティ推進委員会会議費などで 30 万円とした。租税公課は令和 2 年度の事業収入に対して計算されるので法人税として 235 万円を見込み、事務用品費は財団分との分離対応の為に計上したもの。今期予算としては経常収入 27 百万円、経常費用 25 百万円と見込んでいる。

・金子理事長 今期より総会決算を学会決算の中で計上する為、収入や費用額はともに増加しているが、収支は前期と同水準なので、最終 2 百万円前後黒字を目標にしている。

議案 3 2023 年 第 56 回総会会長の選出 金子理事長

第 56 回総会会長の候補者として防衛医科大学校分子生体制御学講座の四ノ宮成祥先生が理事会で選出されたとの報告があり、四ノ宮成祥先生よりご挨拶があった。

議案 4 令和 2 年度学会賞受賞者決定報告 金子理事長

学会賞受賞者は虎の門病院集中治療科・循環器センター内科・高齢総合診療部の桑原政成先生に決定したとの報告がなされた。

議案 5 令和 2 年度優秀論文賞受賞者決定報告 市田編集委員長

最優秀論文賞は福井大学の此下忠志先生、優秀論文賞は福井大学の大岩加奈先生に決定したとの報告がなされた。

議案 6 編集委員会報告と優秀賞について 市田編集委員長

1. 令和 2 年 J-Stage アクセス数・・・総計：355,901 月平均：29,658
2. 学会誌の将来的な IF の取得・・・取得する為には英文学会誌を持ち英文原著を年間 10 編以上 5 年間発刊する事が条件となっており学会全体の取組が必要なため理事会で検討することとなった。
3. 編集委員の改選・・・堤委員と細山田委員の任期満了に伴い桑原先生と仲川先生が理事会で承認された。
4. ガイドライン第 3 版英語版・・・昨年 3 月から学会誌に公開している。
5. 編集委員会内規の変更・・・学会名変更に伴う学会誌名の変更及び職務・選任方法・任期などの一部修正した旨の報告がなされた。
6. 優秀論文賞及び学会発表での賞設立について

①優秀論文賞などの賞金額変更の報告

従来は総額 50 万円の範囲で運用していたが、今後は最優秀論文賞を

20万円・優秀論文賞を10万円と賞金額を明確にして運用してゆく方針が理事会で承認された。

②優秀論文賞(メディカルスタッフ部門)の新設の報告

編集委員会よりメディカルスタッフ部門の方々が投稿しやすくする為に、別枠での審査を行う専用の論文賞を新設したいとの提案があり理事会として前向きに検討する事になった。今後の運営方法など具体的な点についても編集委員会が検討してゆく事になった。

③学会発表での賞の設立

学会での優れた発表に対して分野毎に学会功労者の名前をつけた新しい賞を考えている。

今後の手順などの具体的なやり方を編集員委会で検討してゆく予定であり何かご意見があればお教えいただきたい。

議案7 認定痛風医資格制度委員会報告 谷口委員長

令和2年度の認定痛風医試験はコロナ感染防止の観点から中止としたが、今年度については、開催の方向で開催方法などを委員の先生方と検討中である。教育研修会については、学会総会に合わせオンライン形式で開催予定ですが、視聴については2/11~2/14まで可能となっており単位も付与される事とした。

議案8 利益相反(COI)委員会報告 谷口委員長

1. 規約の変更

- ・学会誌名称を「痛風と尿酸・核酸」に変更
- ・第9条内の文言の変更 総務委員会を理事会に、利益相反細則検討委員会を利益相反委員会に変更

2. 編集委員会から要請があったCOIに関する件については、委員会で再度検討してCOIなしと回答した。学会のCOI規約については外部委員も含む新しい委員で確認して現状問題なしとの結論になっており、今後も学会のCOI規約を重視して判断して欲しい。

議案9 ガイドライン広報委員会報告 内田委員長

1. 各地域での広報・啓発・普及活動

- ・共通広報啓発活動用スライドを昨年秋ホームページに開設した会員専用ページ欄に公開した。
- ・ガイドライン発刊後アンケート調査を10/16~11/15にホームページで実施し62名の回収があった。マインズより3年間は継続して実施する

ようにとの指導があるので、本年も同時期に開催の予定である。

2. ガイドライン中国語版発行について

全翻訳が終了し6月に2000部を58人民元(日本円900円前後)で発行する予定であり学会財務面での多少の貢献につながると思う。台湾についても出版社からのオファーがあれば発行してゆきたい。

3. 今後の啓発活動としてはガイドラインのCQ1～CQ7についての市民向けQ&Aに該当する動画を作りホームページに掲載する事を計画している。

議案10 ガイドライン第3版追補版の作成について 久留委員長

第2版と同様にガイドライン第3版追補版の発行を2022年1月頃に予定している。追補版制作の為に協力依頼状を送付し、ご協力をお願いした。

議案11 ありがた委員会報告 金子理事長

1. 痛風・尿酸財団の山中理事長より11月に受検した内閣府立入検査の結果果報告や研修会・研究助成の実績などの報告を受けた。

2. ダイバーシティ推進委員会の設立

連絡会などに加盟し活動している学会も多く、情報交換や知名度を上げる為にも設立を考えている。委員は金子、細山田、森崎裕子、森脇、森田、箱田の6名の委員が承認され活動内容や運営方法などは今後の検討課題として委員会で審議してゆく事になった。

3. 財務面の強化

現在はひっ迫している状況ではないものの、今後も会員を増やして行く方針である旨の説明があった。

4. ホームページ上でのバナー広告について

機能性食品会社から申し出が来ているが、慎重な意見の先生も多く他の学会でもまだ導入いないので今後の検討課題とした。

5. 学会員の増加策

学会の活性化の為に他職種の方にも声かけをしてゆく事で一致した。

議案12 評議員の選出 金子理事長

理事会で決定した3名の候補者の発表があり、賛否をはかったところ、承認された。

防衛医科大学校 河村優輔先生、仁愛大学 岸慎治先生
防衛医科大学校 中山昌喜先生

議案 1 3 監事の選出 金子理事長

現在は2名の先生に監事をお願いしているが、負担が大きくなっており新しくペガサス馬場記念病院 嶺尾郁夫先生を候補者として理事会で決定し総会に提案するとの報告があった。

議案 1 4 庶務幹事報告 細山田庶務幹事

現在の正会員数は568名で、内訳としては医師354名、薬剤師47名、管理栄養士10名、看護師5名、連絡なし110名となっている。
学会賞内規の第4条(2)推薦方法について自薦文言を削除し名誉会員・理事・監事・評議員に書面若しくは電磁的な方法により候補者の推薦を求めると変更した。


議案 1 5 その他

第55回日本痛風・尿酸核酸学会津谷寛総会長の挨拶と計画案の説明
第54回日本痛風・尿酸核酸学会市田公美総会長の挨拶と概要の説明

閉会挨拶 金子理事長

この議事録が正確であることを証する為、理事長及び出席理事がこれに記名押印する。

令和3年2月4日

議 長 (理 事 長) 金子 希代子 

議事録署名人 (理 事) 細山田 真 